

市長マニフェスト 主な取組状況

令和7年12月現在



◎
実施・推進中

96項目
(86.4%)

○
一部実施・推進中

10項目
(9.0%)

△
検討、協議中

5項目
(4.5%)

マニフェスト

ページ

若い世代・子育て世代に選ばれるまち

「稼ぐ力」の向上に取り組めます	3
妊娠・出産、子育てへの支援を充実させます	5
こどもまんなか社会の実現に向けて取り組みます	7
スポーツを中心としたエンターテインメントを促進します	10
若者、女性が活躍できる環境の整備を進めます	11

高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち

高齢者が主役の選ばれるまちを目指します	13
誰もが主役。ウェルビーイングなまちを目指します	15
選ばれる安心安全なまちを目指します	17
市民に分かりやすい、より便利な市役所づくりを進めます	18

ワクワクする、世界中から選ばれるまち

国内外から選ばれるまちの魅力を高めます	20
ワクワクする体験を増やします	22
国内外に向け、鹿児島市の魅力を発信します	23

選ばれる持続可能なまち

環境にやさしいまちづくりに取り組みます	26
持続可能なまちづくりを進めます	27
持続可能な行財政運営に取り組めます	29

物価高騰対策

市民や事業者の暮らしを守る物価高騰対策に取り組めます	31
----------------------------	----

若い世代・子育て世代に 選ばれるまち

「稼ぐ力」の向上に取り組めます

1 中小企業振興を推進します

■オープンイノベーションによる事業創出を支援

- ・ 自社の強みや課題等を整理し言語化するワークショップの開催
(7年度) 4回(7月~8年1月予定)
- ・ 新規事業創出を目指す事業者の交流イベントの開催
(7年度) 4回(7月~8年1月予定)
- ・ 事業化に向けた伴走支援の実施
(7年度) 3事業者
- ・ 少人数制産学マッチングイベントの開催
(7年度) 4回(8月~8年1月予定)



2 中小企業の業務効率化・生産性向上のため、ICTの導入を促進します

■小規模事業者の生産性向上に向けた専門家の派遣やICTツール導入への助成

- ・ 専門家派遣 6年度: 19件、7年度: 8件(10月末現在)
- ・ ICTツール導入助成 6年度: 9件、7年度: 4件(10月末現在)

3 生産性を上げて、賃金を増やします

■中小企業の生産性向上や人材育成、販路拡大、新製品開発等への助成

助成件数: 33件(6年度)、32件(7年度: 10月末現在)

4 ICT関連産業振興に取り組めます

■ICT企業の立地を目指し、企業訪問及びPR活動等を実施

- ・ 6年12月以降のICT企業との立地協定: 13件(10月末現在)

■県内初進出のICT企業等への新規雇用に対する補助金額を拡充 (7年度~)

5 積極的に起業支援を推進します

■ふるさと納税を活用して、地域課題の解決を目指す事業者や起業家の成長を支援する団体の経営基盤等の強化を支援

- ・ 補助対象者: 地域課題解決を目指す事業者 6社
起業家の成長を支援する団体 1団体

6 スタートアップ支援の強化に取り組めます

■スタートアップ支援プログラムを実施

- ・ 7年度: 全5回(7月~9月)

■首都圏でのビジネスマッチングイベントへの参画(8年1月予定)

7 戦略的な企業誘致に取り組みます

- 企業立地を目指し、企業訪問及びPR活動等を実施
 - ・6年12月以降の立地協定：19件(10月末現在)
- 本市への立地を検討する県外企業の現地視察に対する補助金を拡充（6年度～）
- 県内初進出のICT企業等への新規雇用に対する補助金額を拡充（7年度～）

8 事業者の海外展開を促進します

- 海外展示会等への出展及び海外市場調査等を支援
 - ・助成件数：4件（6年度）
5件（7年度：10月末現在）
- 本市商品等を取り扱う地域商社の支援
 - ・助成件数：3件（6年度）
2件（7年度：10月末現在）

9 農産物の付加価値を高め有機農業の振興を推進します

- 新たに有機農業への転換等を実施する農業者を支援
 - ・講習会開催(8月、9月、10月、12月)
- 有機JAS認証等を取得する農業者を支援
 - ・有機JAS認証取得件数：8件(予定)



10 スマート農業を強力に推進します

- スマート農業に関する理解促進を図る研修会等を実施
 - （7年度）24回(10月末現在)
- 先端機器導入に係る経費を助成
 - （7年度）9件(10月末現在)
- スマート農業技術の海外研修に要する経費を助成
 - （7年度）4件(10月末現在)



11 持続可能な「稼げる農林水産業」づくりを進めます

- 多様な担い手の確保・育成を図るため、障害者等の農業分野への参入を支援
 - （7年度）1件（予定）
- 農村型地域運営組織(農村型RMO)の育成を支援（7年度～）
 - ・支援件数：1組織（7年度：10月末現在）
- 木材生産の低コスト化を図る高性能林業機械の活用を助成
 - ・助成件数：5件（6年度）
5件（7年度：10月末現在）
- 魚類市場の活性化のため、水産物輸出に取り組む市場関係者を支援
 - ・セミナー・研修会等の案内・参加：4回（6年度）
5回（7年度予定）
 - ・輸出関係商談会への参加支援：2回（7年度）

妊娠・出産、子育てへの支援を充実させます

12 こどもを産み・育てる親に寄り添う取組を進めます

■多胎妊産婦を対象に育児サポーターを派遣し、家事・育児・外出などを支援

- ・利用期間の拡大：1歳→2歳（7年度～）

■ひとり親家庭の子どもの養育費を確保するための費用を助成

- ・債務名義の取得費用の助成
助成件数：6年度 41件、7年度 17件（10月末現在）
- ・養育費請求にかかる強制執行申立てを行う場合の弁護士費用助成（7年度～）

13 若年者に対するプレコンセプションケアに取り組みます

■若者への意識啓発を行うため、高校生や大学生、新入社員を対象に、ライフデザインセミナーを開催

- ・開催実績：7回（10月末現在）

■若年世代への適正体重に関する正しい知識の普及啓発

- ・高校、大学等での健康教育の実施：
6年度：1校35人、7年度：2校196人（10月末現在）



✍️プレコンセプションケアとは——

若い男女が、将来の妊娠やライフプラン、からだの変化に備えて自分たちの日々の生活や健康づくりに向き合うこと

14 親子で楽しめる機会を増やし、子育てに夢と希望を持てるこどもまんなか社会を目指します

■こどもまんなか社会の実現に向け、親子で楽しめるイベントを開催（7年度～）

- ・11月9日開催



16 待機児童ゼロを実現します

■保育所等の待機児童数ゼロを継続

■児童クラブの新設（民間児童クラブを含む）

- 12クラブ（10月末現在）

■児童クラブ支援員報酬単価を改定

■民間児童クラブへの補助を拡充

- ・待機児童が発生する見込みの校区等において車両による送迎を行う場合の補助加算を新設（7年度～）
- ・補助基準額等の改定

17 保育士の確保策を講じます

■保育士等の処遇を改善

- ・常勤保育士等に月2万円、非常勤保育士等に月上限1万円を支給
6年度：169施設 延べ38,509人

■保育所等に就職した保育士等の奨学金返済金を補助

6年度：462件、7年度：233件（10月末現在）

■潜在保育士等の就職を支援

- ・潜在保育士、県外保育士等への就職奨励金の給付
潜在保育士 6年度：280件、7年度：208件（10月末現在）
県外保育士 6年度：33件、7年度：19件（10月末現在）
- ・潜在保育士を保育補助者として雇用する保育所等への補助金の交付
6年度：11件
7年度：10件（10月末現在）



18 児童クラブの機能向上を図ります

■民間児童クラブへの補助

- ・民間児童クラブ数：6年度 38 → 7年度：48（10月末現在）
- ・開所時間延長を含む長時間開所しているクラブへの加算を実施

■タブレット端末を活用した学習の支援（インターネット環境の充実）

- ・市設置児童クラブのWi-Fiルーター運用、光回線整備工事
- ・民間児童クラブへの光回線使用料等補助



19 病児・病後児保育体制を整備します

■保護者の子育てと就業等の両立を支援するため、病児・病後児保育を実施

- ・実施する病児・病後児保育施設の拡充：8か所→9か所
（8年度開所予定）

20 こども医療費の負担を軽減します

■自己負担ゼロの対象拡大

- ・保険診療による医療費の全額助成の対象を
課税世帯は3歳未満から中学3年生までに拡大（7年度～）
※市町村民税非課税世帯は18歳まで（3年度～）

■窓口負担ゼロの導入

- ・医療機関窓口での支払いがない現物給付方式を
課税世帯の中学3年生まで導入（7年度～）
※市町村民税非課税世帯は18歳まで（3年度～）

こどもまんなか社会の実現に向けて取り組みます

21 こどもや若者の意見を表明する機会を創ります

■「鹿児島市みらいトーク～子どもたちと鹿児島市を語る会～」を開催（7年度～）

- ・公募で選ばれた中学生・高校生と市長が対面して意見交換
- 8月:高校生 10名参加
- 12月:中学生 7名参加(予定)



■包括連携協定を締結している市内大学で市政に関する講義等を実施

- ・7年度実施校：鹿児島大*、志學館大*、鹿児島純心女子短期大*
鹿児島国際大、鹿児島女子短期大

*は提言発表会も開催(予定含む)

23 こどもの視点に立った多様な居場所づくりを進めます

■こどもの視点に立った多様な居場所づくりに向け、こどもの居場所に関する実態把握のための調査実施

- ・調査対象：小学生(高学年)・中学生・高校生各1,000人(計3,000人)及び保護者1,500人(いずれも無作為抽出)
- 居場所となる施設・場所等34カ所

24 家庭環境に左右されない学習機会を提供します

■家庭での学習等に困難を抱える子どもへ学習の場を提供

- ・新たに学習生活支援員2人を配置し、進路選択や学習・生活環境改善に向けた支援（7年度～）
- ・進学を目指す子どもへのオンライン等による学習支援(7年度～)

■子ども食堂の支援団体が行う学習支援の取組を支援(6年度～)

25 児童相談所の設置に向けた取組を進めます

■児童相談所の設置に向けた施設整備や運営体制の検討

- ・建物・本体設備に関する基本・実施設計（7年度）



※検討段階でのイメージにつき、今後変更となる場合があります。

- ・県や他都市への派遣研修やこども家庭ソーシャルワーカーの資格取得など人材育成の実施

■児童相談所設置を見据えた「児童相談システム」を導入

(8年2月運用開始予定)

26 発達障害の療育支援を行います

- 子どもの発達障害の早期発見ときめ細かな支援のため、発達相談体制の整備、保育所等への巡回発達相談を充実
 - ・巡回発達相談の回数：249回 406人(6年度)
 - 202回 354人(7年度:10月末現在)
- 障害児通所支援の利用促進のため、市独自の利用者負担軽減を実施
 - ・児童発達支援等：利用者負担額の全額を助成
 - ・放課後等デイサービス：利用者負担額の2分の1を助成

27 桜島地域において こどもまんなかの子育て環境を整えます

- 令和8年4月の桜島地域の幼保一元化に向け、統合に伴い新たに生じる費用を助成するため補助金等を創設
- 桜島学校の新校舎建設工事に着工
 - ・開校に向けた教育課程編成や学校運営の準備
 - 8年4月～桜島中学校の校舎で開校(予定)
 - 9年4月～新校舎の供用開始(予定)



28 IT関連教育を推進します

- ICT支援員による学校訪問、電話やオンライン支援の実施
 - ・派遣回数：98校273回(6年度)、111校330回(7年度:10月末現在)
- 鹿児島大学と連携した小学校プログラミング出前授業を実施
 - ・実施校及び参加児童数：17校603人(7年度)
- 学校や家庭で自主的に学べるクラウド型情報モラル教材を導入

29 教育DXを積極的に進めます

- GIGAスクール構想に必要なICT機器の整備
 - ・市立小・中学校学習者用タブレット端末の更新
- 小・中学校の全児童生徒が活用できるAI型デジタルドリルの活用
- ICT機器との接続に特化し、明るい室内でも視認しやすい電子黒板を整備
 - ・導入校：118校(6年度)



30 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います

- 高校生の海外留学費用を助成
 - ・助成件数：6年度 4件、7年度 2件(10月末現在)
- 青少年の海外派遣の実施
 - ・東南アジアへの派遣：ベトナム(7年度)
 - ・姉妹友好都市等への派遣：パース市、長沙市、マイアミ市、ナポリ市、ストラスブール市(7年度)

31 心を育む教育を推進します

■地域の人材等を招へいし、体験活動やキャリア教育を充実させ、市立学校の特色ある教育活動を推進

■不登校児童生徒等の自立を支援するため、個々の状況に応じた居場所づくりの推進

- ・フレンドシップ(教育支援センター) 5か所
利用児童生徒：95人(10月末現在)
- ・フレンドルーム(校内教育支援センター) 3中学校
利用生徒：79人(10月末現在)
- ・フレンドステップ・メタバース(仮想空間)
利用児童生徒：74人(10月末現在)



■不登校児童生徒等を対象に人との触れ合いや体験活動を実施するほか、保護者を対象に講演会や個別相談会を実施

- ・宿泊体験及び高校・施設見学 年6回
参加者：小学生8人、中学生36人、保護者11人(10月末現在)

32 小中学校の屋内運動場への空調設備の整備を検討します

■屋内運動場空調設備整備検討委員会を設置し、避難所となる小中学校の屋内運動場への空調設備の設置に向け、設計業務を委託(7年度)10校の設計業務を委託

対象校：武小、中山小、中郡小、伊敷小、大明丘小、西田小、玉江小、石谷小、谷山小、緑丘中

33 市立高校の振興と環境整備を図ります

■母校応援ふるさと寄附金を活用し、市立高校の教育環境の向上及び特色ある教育活動への取組を支援

(6年度)

- ・女子高：学校紹介動画制作及び放映
- ・玉龍高：プロジェクター・冷水機の整備

(7年度)

- ・商業高：折りたたみ椅子の整備(予定)



■米国スタンフォード大学の専任講師による英語のオンライン講座

- ・市立3高校において、地方創生、起業家精神等をテーマにオンライン講座を実施
計12回実施予定(9月～8年3月)

■沖縄科学技術大学院大学(OIST)への高校生派遣

- ・世界最先端の科学技術研究を行うOISTのプログラムに鹿児島玉龍高校の生徒を派遣(8年2月予定)



スポーツを中心としたエンターテインメントを促進します

34 まちに新たな賑わいと活気を生み出す スタジアムの整備に向けた取組を進めます

■多機能複合型スタジアムの整備検討

- ・ 県市意見交換会(11月)にてスタジアムの整備について以下を確認
 - 鹿児島サンロイヤルホテル敷地等と県立鴨池庭球場敷地がスタジアムの候補地となり得るか調査すること
 - スタジアムの整備に向けては、引き続きオール鹿児島で取り組むこと
- ・ 両敷地でのスタジアム配置案や庭球場移設案、概算整備費の算出、パース図作成等の調査を実施(8年1月開始予定)
- ・ 候補地選定に向けた県市間協議の実施回数：10回(7年1月～10月)

35 プロスポーツチームの活動を支援します

■鹿児島ユナイテッドF Cの支援

- ・ ホームゲームでのイベント等の開催
- ・ 企業版ふるさと納税を活用したトレーニング施設の整備支援
クラブハウス(4月完成)



■鹿児島レブナイズの支援

- ・ 企業版ふるさと納税を活用したブースター拡大支援(市民無料招待等)
- ・ チームが行う本市の観光PR活動等への支援



36 魅力あるスポーツコンテンツの充実を図ります

■オリンピックによるオリンピック教室を開催

- (7年度) 長田中(10月)
- 甲東中(11月)



■スケートボード等専用施設の整備

- (7年度) 実施設計等業務委託(5月)
- 競技者や市民等とのワークショップ(5、6月)



37 街なかでアーバンスポーツを体験できる 機会を創出します

■アーバンスポーツを気軽に体験できるイベントの開催

- (7年度) ・ スケートボード体験会(11月)
- ・ 3×3(3人制バスケ)体験会(予定)
- ・ アーバンスポーツフェス(予定)

38 スポーツ合宿の誘致に取り組みます

■プロや実業団チーム、大学のキャンプを誘致

- 新たなキャンプ誘致を図るため、スポーツキャンプのガイドブック(中国語(簡体字)版、韓国語版)を作成

若者、女性が活躍できる環境の整備を進めます

39 男女共同参画を推進します

- 企業経営者等に女性活躍への理解・実践を促すため、市内企業等のトップで構成する「女性活躍応援リーダーズ」を発足（10月）
 - ・先進企業の事例発表と若者との意見交換によるセミナーの開催
 - ・参画企業の取組事例を市HPやSNS等で発信
- 市の審議会等における女性委員の参画率目標を達成
 - ・数値目標：8年度までに40% → 6年度実績：40.0%
- 「男女共同参画センター若者サポーター」との協働（6年度～）
 - ・若者の視点を取り入れたSNSによる情報発信
- 職業生活での女性活躍推進のため「女性活躍アドバイザー」を設置
 - ・企業や学校等でのセミナー等

40 アンコンシャスバイアスの見える化を進め、職場や地域における女性活躍を推進します

- アンコンシャス・バイアスに関する意識調査を実施、エピソードや解消に向けたアクションを収集(対象：一般、学生)
 - ・市民アンケート調査（6～7月）
 - ・エピソード等の募集（6～7月）
- 市民の意識啓発を図るため、アンケート結果やエピソード等を幅広い世代に周知
 - ・特設Webサイトを開設（予定）

✎アンコンシャス・バイアスとは——
自分では気づかないうちにそれぞれの価値観や過去の経験等に基づいてつくられた無意識の偏見や思い込みのこと

41 若者や女性が働きやすい職場づくりを進めます

- 若者や女性が働きやすい職場づくりに取り組む中小企業者を支援
 - ・ワーク・ライフ・バランス推進奨励金の支給
申請件数：13件
 - ・「ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー」の派遣
セミナー派遣：1回（10月末現在）
事業所派遣：2事業所（10月末現在）

42 若年層の市内就職定着を図ります

- 従業員に代わり奨学金を代理返還する制度を導入した企業へ補助金を支給
 - ・申請件数：2件（10月末現在）
- 若年者等の就職をサポートするための各種取組を実施
 - ・高校生ステップアップセミナー（7月）
参加者数：481人
 - ・「ワカモノ×カゴシマシ」魅力再発見セミナー(大学生向け)
参加者数：12人
 - ・働きたいママ・パパの就活応援講座
開催回数：7回 受講者数：27人（10月末現在）
- 若者の市外流出抑制に向け、若い世代への地元企業等の魅力発信や情報提供を行う若者就職応援フェアを開催(12月)

**高齢者など多くの世代から、
これからも選ばれるまち**

高齢者が主役の選ばれるまちを目指します

43 認知症の人やその家族を社会全体で支える認知症対策を進める「オレンジシティ(認知症を皆で支える都市)」を宣言します

■「認知症オレンジシティかごしま」を宣言(9月)



■見守り活動に協力する事業者の募集を開始

- ・協定締結事業者：8事業者(18事業所)(10月末現在)

■「チームオレンジ」の設置、運営支援

- ・チームオレンジコーディネーターの設置：2人
- ・チームオレンジの認定チーム数：13チーム(10月末現在)

◆チームオレンジとは――

認知症の方とサポーター等が一体となって、地域における交流や見守り支援などを行うボランティア団体

■認知症の人やその家族を支援するため認知症サポーター等を養成

- ・認知症サポーター 養成者数：1,662人(10月末現在)
- ・認知症等見守りメイト 養成者数：29人(10月末現在)
- ・認知症介護教室 参加者数：92人(10月末現在)

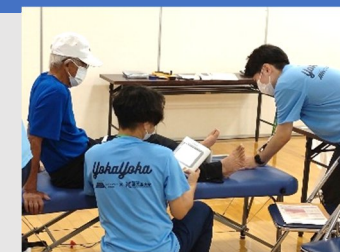
44 認知症の早期発見・早期対応に取り組みます

- 「認知症オレンジシティかごしま推進計画」の策定に向けた取組
 - ・認知症の人とその家族の意見を計画に反映するための取組を実施
本人ミーティング・家族交流会(各2回)
 - 個別聞き取り調査

45 疾病予防・介護予防を促進します

■効果的な介護予防活動の推進

- ・住民主体の通いの場等で、タブレット端末を活用し、質問票の入力や体力測定等を実施(6年度～)



- 要支援者等の社会参加の支援を強化した短期集中運動型サービスのモデル事業実施(10月～)

46 介護人材の育成や確保に向けた取組を進めます

- 介護人材確保のための合同就職説明会の開催
(6年度)12団体出展、28名参加
(7年度)13団体出展、72名参加

■小学生への学校講話

■介護事業者経営力強化研修(オンライン)開催



47 高齢者の生きがいづくりと社会参画を促進します

■高齢者福祉バスを運行

- ・運行回数：368回(10月末現在)
- ・貸切バス借上料の一部を助成する補助制度を開始(12月～)

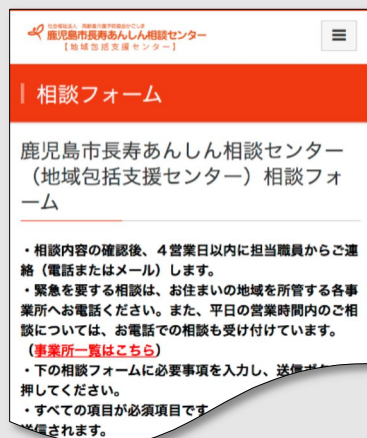
48 スマートフォンで高齢者のウェルビーイングを高めます

■地域包括支援センターのホームページ上に、相談受付の電子フォームを作成（7年度～）

- ・相談受付件数：78件（10月末現在）

■ICTリテラシーの向上を図るため、スマートフォン活用講座や高齢者向けデジタル相談会を実施

- ・スマートフォン活用講座：開催回数：25回(10月末現在)
- ・高齢者向けデジタル相談会：開催回数：6回(10月末現在)



49 高齢者等が安心して住み続けられる住環境を提供します

■鹿児島市居住支援協議会の設立によるサポート

（6年度）

- ・設立目的：民間賃貸住宅の入居に不安を抱える高齢者等が安心して住まいを確保できる環境の整備

（7年度）

- ・協議会のワーキンググループを開催（7月、10月）
- ・協議会相談窓口の設置（4月～）

■単身高齢者を受け入れる住宅の大家等に対し、孤独死・残置物保険を提供(8月～)

誰もが主役。ウェルビーイングなまちを目指します

50 支え合う地域づくりを推進します

■地域包括支援センターにおける高齢者の介護予防や自立支援のための総合相談支援等の実施

- ・地域共生社会の実現に向け、障害分野や児童分野など他分野との連携

■地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、関係機関や地域の連携による重層的な支援を実施



51 相互に支えあい、人と人との「つながり」が生まれる社会を目指します

■経済的困窮など生活上の困りごとや不安を抱える市民に対し、相談支援を実施

■住居を喪失する離職者及びやむを得ない休業者に対して住居確保給付金を支給

■生活支援コーディネーターを配置し、生活困窮者等に対する訪問支援等を実施

52 障害者の地域生活の支援をさらに推進します

■在宅の重度障害者等の日常生活の不便解消に必要な用具を給付

- ・発電機・バッテリーの給付基準拡充(7年度～)
耐用年数を10年から5年に短縮
同時支給を可能とし、難病患者も給付対象

■地域活動支援センター(Ⅱ、Ⅲ型)の委託単価の増額(7年度～)

✎地域活動支援センターとは——
障害者等に対し創作的活動等の機会を提供し、社会との交流の促進等の便宜を供与する施設

■手話通訳者等の派遣報酬を引き上げ(7年度～)

53 持続可能な地域社会を形成するため、ダイバーシティの推進を図ります

■鹿児島市パートナーシップ宣誓制度の運用(運用開始:4年1月～)

宣誓数:5組(7年度:10月末現在)※累計29組

54 インターネット差別・誹謗中傷被害者支援条例を制定します

■条例制定に向けた取組

- ・市人権啓発に関する懇話会で審議し条例制定着手を決定(8月)
- ・条例骨子案の検討(10月～)

55 健康診断受診率を向上させます

■年間を通じて各種がん検診等を実施

- ・対象者への受診券の送付
- ・土日、夕方検診の実施



■特定健診受診者への特典を拡充

- ・従来のトク得クーポンや入浴券の他、新たに公共施設の無料利用券を交付（7年度～）

■健康診査の受診者に対し、換金等が可能な高齢者いきいきポイントを付与

57 5地域の魅力や活力を創出する取組を進めます

■「地域と共に創るまちづくりプラン」に基づく取組の展開

- ・地域懇話会などの意見をもとにプラン改訂（7年3月）
- ・各地域の豊かな個性を生かした事業の展開



吉田地域

身近な自然の中で子どもの笑い声響くふれあいイベントの開催等



桜島地域

空き家をリノベしたゲストハウスを拠点とする関係人口の拡大等



喜入地域

J R喜入駅や鹿兒島ユナイテッドFCとの連携による交流拠点の整備等



松元地域

松元茶や地元高校生アートなど、マルシェの実施による地域の魅力発信等



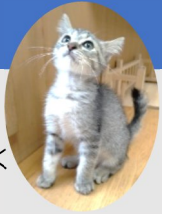
郡山地域

地域の食やお得なサービス、名所を周遊して楽しむロングランマルシェ等

56 動物殺処分ゼロを継続します

■犬猫の飼養者等に対する適正飼養の啓発

- ・殺処分数※：犬 0頭、猫 0頭（3～6年度）※自然死を除く
犬 0頭、猫 0頭（7年度：10月末現在）



■動物愛護基金を設置、ふるさと納税等の寄附金募集開始（7年度～）

58 だれもが安全に楽しめるインクルーシブ公園の普及に努めます

■公園のバリアフリー化工事の実施

- ・7年度：荒田公園（トイレ）、大峯公園（水飲み場）

59 多文化共生の地域づくりを進めます

■国際交流アドバイザー（英語圏、中国語、韓国語）を配置し、文化講座等を実施

■国際交流センターにおける多文化共生勉強会の開催や外国人相談デスクの運用

選ばれる安心安全なまちを目指します

60 能登半島地震の教訓を踏まえた防災対策を強化し、災害に強いまちづくりを進めます

- 大規模災害に備えた緊急消防援助隊活動拠点施設の整備
 - ・資機材等の管理施設や自家給油施設など、緊急消防援助隊活動拠点施設の整備に向けた実施設計を実施

61 様々な状況に合わせ避難所の質を確保します

- 地域福祉館のバリアフリー推進（7年度）
 - ・玄関、和室、トイレ入口などに手すりを設置(39館)
 - ・トイレの洋式化を実施(2館)

- 防災資機材等備蓄計画に基づく備蓄物資の適正な管理を実施
 - ・避難所用携帯トイレなどの備蓄（7年度～）

- 避難所の運用変更（7年度～）
 - ・指定福祉避難所の運用開始（13か所）
 - ・早期開設避難所の運用開始（37か所＋指定福祉避難所13か所）



62 防災力のICTの強化を図ります

- 映像の共有による迅速・的確な災害対応や応急手当
 - ・119番映像通報システムの運用 実績：103件（10月末現在）
 - ・災害現場映像中継システムの運用 実績：665件（10月末現在）

- 無人航空機（ドローン）の運航に係る訓練・研修を実施

63 市民との協働による防災対策を推進します

- 自主防災組織の結成を促すため、防災活動に必要な資機材の整備に対し補助
 - ・自主防災組織数：638団体（10月末現在）
 - ・補助件数：15件（10月末現在）

64 桜島火山防災研究所を設置し、火山防災トップシティを推進します

- 避難に係る研究等を行う「桜島火山防災研究所」設置（7年度～）
 - ・大量軽石火山灰からの避難対象地域の決定に資する降灰量予測システムの構築
 - ・他機関との大量のデータのやり取りや解析、処理等を行うネットワークの構築
 - ・観測データ提供に関する協定の締結
 - ・国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所（6月）
 - ・国立大学法人京都大学防災研究所（10月）



65 救命救急体制の充実・強化を図ります

- 救急救命士及び指導救命士の養成強化
 - ・救急救命士の養成：6人養成中（10月末現在）
 - ・指導救命士の養成：1人（10月末現在）

市民に分かりやすい、より便利な市役所づくりを進めます

67 町内会回覧板デジタル化など、コミュニティの維持充実を図ります

- 地域コミュニティ活動の活性化や地域の連帯強化促進を目的とする事業を実施する町内会等に対し助成
 - ・ 交付決定件数：600件（10月末現在）
- 町内会活動の効率化、負担軽減や活性化を図るため、デジタルツール活用に係る経費の一部を助成
 - ・ 交付決定件数：21件（10月末現在）

68 市民サービスの向上と行政運営の効率化を図るため、DXの取組をさらに進めます

- オンラインで利用者登録や講座申込が可能な「生涯学習講座申込システム」の運用を開始
 - ・ 旧システムによる申込率：21.6%（6年度）
 - ・ 新システムによる申込率：57.8%（7年度：10月末現在）
- ITやプログラミングの専門知識を持たなくても、業務効率化に繋がるアプリを作成可能なノーコードツールを導入
 - ・ 食肉衛生検査所における衛生管理点検（予定）
 - ・ 給排水設備工事申請システム（予定）
- 「税務相談窓口システム（テレビ窓口）」を導入
- 市役所の「書かない窓口」の推進
 - （7年度）おくやみコーナーでの手続きなど対象を拡充



69 生成AIの活用推進と運用の安全性を高めます

- 業務の効率化に取り組むため、対話型生成AIの活用研修等を実施
- 職員向けに生成AI活用のためのガイドラインを作成・運用

70 鹿児島市内全域で「市長と語る会」を開催します

- 市内14地域で順次開催
 - （7年度）計7回開催
 - 松元（6月）、桜島（7月）、谷山（9月）
 - 中央（10月）、伊敷（10月）、上町（11月）
 - 喜入（8年1月予定）



71 市立病院の機能を強化し、利便性の向上を図ります

- スマートオリエンテーションの導入やRPAによる自動化
- 市立病院再整備に向けた計画等の見直しを検討



**ワクワクする、
世界中から選ばれるまち**

国内外から選ばれるまちの魅力を高めます

72 アミューズメント機能の充実を図ります

■平川動物公園遊園地・錦江湾公園のリニューアル

- ・トライアルサウンディング調査(8~9月)
- ・一体的なリニューアルの基本構想を策定(8年3月予定)

■かごしま水族館

- ・設備更新や今後のあり方について検討を実施

■維新ふるさと館のリニューアル

- ・展示物等のリニューアル
基本・実施設計(8年3月予定)



■桜島自然体験アクティビティ整備

- ・自然体験型観光施設整備に向けたサウンディング調査
(8年1月予定)

73 歩いて楽しめるまちづくりを進め、街なかのにぎわい創出を図ります

■歩いて楽しめるまちづくりの推進

- (6年度) ポケットパーク設置社会実験など
- (7年度) ポケットパークのあり方検討、
マイアミ通り基本設計など

■加治屋町1番街区市街地再開発事業の推進

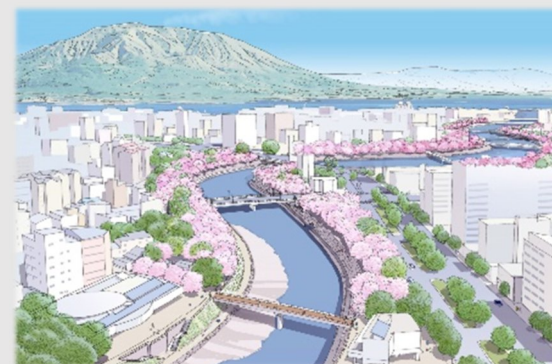
- ・再開発ビルの基本設計などに対する助成



74 市民や観光客の憩いの場としての甲突川の魅力向上を図ります

■甲突川河畔の千本桜の再生

- ・整備方針等を定めたプロジェクトの素案に対するパブリックコメントを実施(8~9月)
- ・「甲突川千本桜再生プロジェクト」の策定(8年1月予定)



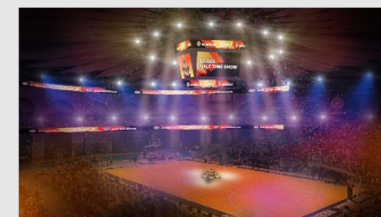
■まちなか夜間景観形成事業

- ・水辺景観エリアにおける夜間景観基本計画素案作成(予定)

75 鹿児島アリーナのエンタメ化を進め、魅力向上を図ります

■鹿児島アリーナのリニューアル検討

- ・スポーツ・イベントを見て楽しめる機能の向上を図るリニューアル改修の基本・実施設計(予定)



76 海岸線を活かしたまちづくりを進めます

■磯ビーチハウスに民間力を導入、年間を通じて楽しめる観光資源化

- ・カフェの開業（7年3月）、リゾートホテルの開業（9月）
- ・ビーチハウス部分の改修（9月～8年3月）

■仙巖園駅前広場の供用を開始(7月～)

■関連団体によるイベント開催

- ・磯新駅設置協議会
 - （6年度）仙巖園駅開業記念式典(7年3月)
 - （7年度）磯地区☆夏のにぎわいフェスタ(7月)
- ・かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議
 - （6年度）仙巖園駅開業イベント(7年3月)
 - （7年度）地域魅力アッププロジェクト(11月)



77 市電沿線の魅力を生かした「トラムでめぐるまちづくり」を進めます

■「マグマやきいも電車」の運行

■市電軌道敷緑化の適正な維持管理 及び基面隆起対策工事(8年1～3月 予定)



78 歴史的建造物をユニークベニューとして活用します

■活用できる歴史的建造物等や利用方法等についての調査・研究

- ・先進事例の調査・研究及び活用に向けた検討・課題整理

■ユニークベニューの試行イベントの開催

- ・「異人館でアフタヌーンティー」(11月)
- ・「美術館イルミネーション」(12月22日～8年1月31日予定)



79 桜島に人が集まるさまざまな仕掛けに挑戦します

■桜島港フェリーターミナルやレインボー桜島を活用した交流の創出

- ・地域の飲食店等の連携によるマルシェ「さくら市」の開催

■地域おこし協力隊による地域資源を活用したブランド力の向上

- ・e-バイクを活用したサイクリングツアー
事業の開発・展開

■「空き家マッチング」による移住の促進

- ・空き家所有者と移住希望者のマッチング

■長期滞在型ゲストハウス「ikoてらす」を拠点とした関係人口の拡大

- ・設置者(地域コミュニティ協議会)への運営支援と広報
- ・「ikoてらす」を起点とした地域内ゲストハウスとの連携促進



ワクワクする体験を増やします

80 体験型観光を進めます

- 桜島・錦江湾体感クルーズ(SDGsプログラム)を実施
 - ・鹿児島だけでしか体験できない自然学習・防災学習
 - 5月20日(火) 参加者：223人
- 桜島・錦江湾ジオパークの体験プログラム・ツアーを実施
- 修学旅行の誘致を図るため、本市の多彩な魅力を生かした探究学習プログラムを作成
 - (6年度) 歴史・文化探究プログラム
 - (7年度) 桜島探究学習プログラム
- イベントクルーズ
 - 「錦江湾ナイトクルーズ」の実施
 - ・8月1日(金) 参加者：391人
 - ・8月23日(土) 参加者：696人
 - ・10月10日(金) 参加者：150人



81 市民とともに交流・連携都市との交流を深めます

- おはら祭における「まつり交流都市」のブース出展
 - 参加都市：鶴岡市、大垣市、神戸市、
山口市、福岡市



- 本市と交流連携協定を締結している彦根市(滋賀県)の物産展に参加
 - ・「交流都市と彦根の観光と物産展」(10月31日～11月3日)



83 クルーズ船の経済効果を高めます

- 官民一体となったクルーズ船受入、寄港地観光等の推進
 - ・鹿児島港への寄港回数が過去最高を更新！
105回(6年) → 118回(7年:10月末現在)
 - ・歓迎行事の実施
 - ・観光客船の誘致・宣伝
 - ・観光客船乗客滞在中の利便性向上



国内外に向け、鹿児島市の魅力を発信します

84 戦略的なマーケティング・プロモーションを展開します

■鹿児島観光コンベンション協会による戦略的なマーケティング実施

■SNSを活用したプロモーションの展開

- ・本市ゆかりのインフルエンサー
3名による多彩な魅力発信

■西郷隆盛生誕200年・没後150年（9年度）

を契機とした誘客

- ・官民一体となった誘客のための
事業計画の策定等（予定）
- ・キャッチコピー及びロゴマークの作成



【キャッチコピー】
愛にいこう、かごしま。

【ロゴマーク】
西郷隆盛
生誕200年・没後150年記念

85 国際会議・各種大会の誘致を進めます

■MICEの誘致に向けた取組を強化

- ・誘客セールスや開催支援の強化に取り組む鹿児島観光コンベンション協会への助成
- 同協会によるMICEの支援件数：120件（6年度）
67件（7年度：10月末現在）

87 ふるさと納税の寄付額増に向けた取組を進めます

■ふるさと納税の推進

- ・魅力的な返礼品の掘り起こしや効果的なプロモーション、クラウドファンディング型ふるさと納税などの取組を強化

受入実績：

【個人版】（5年度）約13.5億円 → （6年度）約19.3億円

【企業版】（5年度）約 2.4億円 → （6年度）約 2.5億円

個人版のうち、県人会や市政報告会、都市PRイベントなど首都圏におけるPRによる受入実績：337件、13,369千円（6年度）



88 ECサイトによる本市特産品の販路拡大を図ります

■本市の特産品を販売する公式ECサイト「カゴシマシティコレクション」を開設

- ・ ECサイトの構築、運用開始
延べ117事業者、1,065商品掲載（10月末現在）
- ・ 開設店舗：楽天市場店（9月～）
Yahoo!ショッピング店（10月～）
Amazon店（予定）



89 関係人口の創出とつながりの強化を進めます

■首都圏において鹿児島ファン拡大のためのPRイベント等を開催

- ・ 鹿児島の食と文化を切り口にしたPRイベント
期間：9月13日～10月5日



90 本市への移住を促進します

■移住情報の提供や相談・受入等の対応

- ・ 本市への移住者数：252人（6年度）、140人（7年度：10月末現在）

■東京圏でのWeb広告によるプロモーションを実施（7年度～）

■移住・就業等の支援（移住支援金）

- ・ 支援対象：東京23区に在住または通勤していた方が鹿児島市内に移住し、中小企業等に就業、起業またはテレワークを行っている場合
- ・ 交付件数：49件（6年度）、19件（7年度：10月末現在）

■路線バスやタクシーの運転者不足への対応のため、 県外からの移住者に対し就職奨励金を交付

- ・ 交付件数：3件（6年度）

91 インバウンド対応の観光人材の育成に取り組みます

■「かごしま観光未来塾」の開講

- ・ マーケティング・マネジメント等を担う高度な観光人材を育成
（6年度）4回実施
（7年度）4回実施（予定）

92 働く外国人の活躍を支援します

■留学生を対象としたツアー型職場見学会を開催

- （7年度）2回実施

選ばれる持続可能なまち

環境にやさしいまちづくりに取り組みます

93 カーボンニュートラルに向けた脱炭素地域づくりを進めます

■省エネルギー家電製品の購入を補助

- ・家庭からのCO₂排出量を削減するとともに光熱費の負担軽減のため、省エネルギー性能の高い家電製品の購入を支援
補助申請件数：989件



■ゼロカーボンの推進支援

- ・事業者向けセミナーの開催
- ・事業活動におけるCO₂排出量の可視化への支援：5件
- ・省エネルギー設備を導入する事業者への助成
補助申請件数：5件（10月末現在）
- ・電気自動車等を導入する市民・事業者への助成
補助申請件数：129件（10月末現在）

94 再生可能エネルギーの地産地消を推進します

■ゼロカーボンガスの導入

- ・南部清掃工場で精製したバイオガス由来の環境価値付き都市ガスを供給（7年度～）
供給先：都市ガスを使用する小学校全42校

■太陽光発電システム等の設置を行う市民・事業者への助成

- ・補助申請件数：266件（10月末現在）

95 エコスタイルへの転換を進めます

■学校版環境ISOの認定事業

- ・環境にやさしい学校づくりに取り組む学校を認定
認定校数：市内小中学校119校（10月末現在）
更新審査：3年ごとに実施（7年度対象校：29校）

■「グリーンオフィスかごしま（環境管理事業所）」の認定

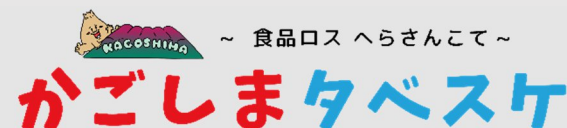
- ・適正に環境管理を行っている事業所を認定
累計認定事業所数：861事業所（10月末現在）

96 3Rを推進します

■粗大ごみ収集のweb受付開始(7年1月～)及び電子決済サービスの導入(7年2月～)

■食品ロス削減のため、フードシェアリングのマッチングサービス「かごしまタバスケ」を運用

- ・マッチング実績(取引成立回数)：420件(10月末現在)



■3Rの意識啓発と実践活動の推進を図るため、分別説明会の開催やごみ分別アプリを配信

持続可能なまちづくりを進めます

97 空き家への対策を強化します

- 適正管理や有効活用を促進するため、空き家実態調査を実施
 - ・実施期間：6月～8年2月(予定)
- 倒壊の危険性がある空き家の解体に対する助成
 - ・助成件数：25件(6年度)、20件(7年度:10月末現在)
- 空家をリフォームする経費の一部を補助
 - ・補助件数：8件(6年度)、6件(7年度:10月末現在)
- 空き家活用の専門的な知識を有する有資格者をアドバイザーとして派遣
 - ・派遣件数：10件(6年度)、6件(7年度:10月末現在)

98 市営住宅再編によるサステナブルなまちづくりを進めます

- 市営住宅再編(建替え・集約)による団地等活性化
 - (7年度) 西伊敷住宅45号棟(40戸) 完成
 - 玉里団地住宅28号棟(54戸)着工
 - 武岡住宅101号棟(62戸) 着工(予定)

- 余剰地の早期活用
 - (7年度) 三和町の市営住宅跡地の売却



99 団地再生を推進します

- かごしま団地みらい創造プランの推進
 - ・まちづくり活動に取り組む新たな人材発掘・育成を図るため、実践セミナーを開催
 - (6年度) 7年3月 (7年度) 8年3月予定
 - ・希望する地域に対し、ワークショップの運営支援を実施
- 子育て世帯の住宅取得費等の一部を補助
 - ・補助実績：42件(6年度)、42件(7年度)
- 本市主催創業セミナー等修了者への新規開業支援
 - ・助成件数：4件(6年度)、3件(7年度:10月末現在)

100 老朽化した建物の建て替えを促進し、中心市街地の活性化を図ります

- かごしまリビルド・トランスフォーメーション(RX)
 - ・中心市街地の老朽化した建物の建替え・新築を支援
 - ①容積率の割増し制度の創設
 - 期間(予定)：7年12月～18年3月(概ね10年間)
 - ②駐車場の附置義務の規制緩和(8年4月～予定)
- 市街地再開発の促進(いづろ交差点周辺地区)
 - (6年度) 地区整備の基本方針等の検討
 - 市街地総合再生基本計画の作成
 - (7年度) 再開発協議会と協議しながら、市街地再開発事業基本計画を作成中

101 土地区画整理事業を推進します

■土地区画整理事業の推進

- ・吉野地区 ・吉野第二地区 ・郡山中央地区
- ・谷山駅周辺地区 ・谷山第三地区

■田上小学校周辺における土地区画整理事業の検討

- （6年度）地元意向調査に向けた地元代表者からの意見聴取
(7年1～2月)
- （7年度）関係機関(県道・河川管理者など)との協議(5～6月)、
地元意向調査、将来像の作成(予定)

102 渋滞対策を総合的に推進します

■みんなで目指す渋滞解消プランの策定

- ・ハード・ソフトの両面から取り組む施策を掲げた
渋滞対策基本計画を策定中
- （6年度）策定協議会(7年1月)
- （7年度）策定協議会(3回程度)、パブコメ・計画策定(予定)

■主要渋滞箇所の対策

- ・既存道路を有効活用した交差点周辺の車線増設や右左折専用
レーンの延伸・新設など交差点改良等によるピンポイント対策
の実施
- （6年度）玉里団地入口交差点改良
- （7年度）鶴丸高校前交差点改良(予定)

103 市民の足を守る、持続可能な 交通ネットワーク形成に取り組みます

■地域公共交通ネットワークの再構築検討

- （6年度）利便増進計画の策定に向けた移動実態等の基礎調査実施
- （7年度）公共交通ビジョン協議会専門部会での協議
利便増進実施計画の素案を作成（予定）

■公共交通不便地における持続可能な交通手段の調査検討

- （6年度）A I オンデマンド交通実証実験や住民の意向等を踏まえた見直し方針の策定のための調査・検討
- （7年度）公共交通ビジョン協議会専門部会での協議、
地域の実情に応じた交通手段の見直し方針策定

■路線バス・タクシー運転者の確保

- ・新たに民間路線バス・タクシー事業に従事
した運転者に対する奨励金交付(7年度～)
- ・民間路線バス・タクシー事業者に対する
二種免許取得経費の一部支援(7年度～)
- ・PR動画作成、SNS広告実施

■市電の安全輸送向上

- ・運転士の異常時に電車を自動的に停止させる装置の設置
(7年度)設置車両数：6両(8年3月予定)
- ・運転支援システムの導入(8年3月導入予定)



104 路面電車観光路線について、引き続き検討します

■本港区エリアの施設整備に関する情報収集を実施

■路面交通研究会に参加し、他都市との情報交換等を実施

持続可能な行財政運営に取り組みます

105 「持続可能性」を重視しSDGsの取組を進めます

■かごしまSDGs推進パートナーの募集・登録

- ・登録数：266事業者（10月末現在）

106 効率的、効果的な市有財産の管理、運営と有効活用を進めます

■次期公共施設等総合管理計画及び公共施設配置適正化計画の策定 (8年3月予定)

■谷山支所庁舎等の大規模改修に向けた実施設計(8年1月予定)

■本市所有施設にネーミングライツを導入

- ・新規選定施設数：(6年度)1件 7施設 ※愛称使用：7年4月～
(7年度)2件 4施設 ※愛称使用：8年4月～(予定)

■レインボー桜島前公共駐車場等の有効活用の検討

■電車車内に広告用デジタルサイネージを導入 (7年度)1000形(3台)に導入(8年3月～運用予定)

107 公共施設への民間力の投入を促進します

■指定管理者制度の効果的な運用

- ・公共施設の魅力向上のため、自主事業について導入マニュアルに明文化（6年度）
- ・集客が見込める施設について、指定管理者選定の評価項目に自主事業を追加（7年度）

108 官民連携と民間人材の積極登用を進めます

■事業者との連携促進

- ・包括連携協定の締結：1件(6年度)、2件(7年度)
- ・官民連携プラットフォームの運用
- ・提案受付件数：延べ55件（うち15件を実施又は実施予定）

■桜島火山防災研究所における人材登用

- ・火山防災専門官(6年度～)
- ・専門的知見を有する研究員：火山防災(7月～)
避難(交通工学)(8月～)

109 若手職員の活用・活躍を推進します

■若手職員で構成する「かごしま未来会議」の設置(7年度～)

- ・第六次鹿児島市総合計画後期基本計画における
重点プロジェクトの検討等を実施

110 より効果的効率的な政策立案・実施に取り組むとともに、市政の透明性を確保します

■行政評価の実施

- (7年度)・施策評価(外部評価)(対象：基本施策(27施策))
- ・事務事業評価(対象：約970事業)

■EBPM推進のため、外部講師による実践的な職員研修等を実施

■オープンデータの公開

- ・公開データ数：118件（10月末現在）

物価高騰対策

市民や事業者の暮らしを守る物価高騰対策に取り組めます

111 物価高騰対策に適切に取り組めます

■物価高騰対応重点支援給付金支給事業

- ・令和6年度住民税非課税世帯に対して、
1世帯当たり3万円、児童1人当たり2万円を給付
世帯給付件数 : 78,013件 (10月末現在)
子ども加算給付人数 : 9,359人 (10月末現在)

■低所得者支援補足給付金支給事業

- ・定額減税しきれないと見込まれる方への当初調整給付額に不足が生じた方などに不足分を給付
給付件数 : 64,715件 (10月末現在)
※当初調整給付は令和6年に実施

■プレミアム付商品券等発行支援事業

- ・小売・サービス業等の事業者への支援や商店街の活性化、地域における消費の喚起及び下支えを行うため、プレミアム付商品券の発行などを行う商店街・通り会等に対し助成

	助成団体数	参加商店街・通り会数
6年度	17団体	57団体
7年度 (10月末現在)	21団体	62団体

■マグマの幸。鹿児島市宿泊キャンペーン事業

- ・観光需要が落ち込むオフシーズンの宿泊割引クーポンの発行
クーポン販売枚数 : 42,000枚



■貸切バス事業維持支援補助金

- ・貸切バスの運行維持を図るため、物価高騰の影響を受ける貸切バス事業者に対し、補助金を交付
対象車両数 : 206台

■路線バス等運行維持支援補助事業

- ・運行維持を図るため、民間路線バス及びタクシー事業者に対し、補助金を交付
交付件数 : バス 3件 384台
タクシー 205件 1,539台

(次ページへ続く)

111 物価高騰対策に適切に取り組みます

(前ページからの続き)

■防犯灯補助事業

- ・町内会等が設置する防犯灯の設置費の補助単価を増額
設置補助件数：154件（10月末現在）

■中小企業デジタル広告支援事業

- ・中小企業者の売上増を図るため、デジタル広告を活用した宣伝等
に対し助成
助成件数：52件（6年度）、41件（7年度：10月末現在）

■飼料価格高騰対策緊急支援事業

- ・畜産経営の維持を図るため、飼養規模に応じた飼料費の一部を
助成
畜産農家：117名（10月末現在）

■飼料自給率向上対策事業

- ・畜産農家の飼料費軽減を図るため、国産粗飼料を確保する取組
を支援
畜産農家：19名（10月末現在）

■介護サービス事業所等物価高騰対策支援事業

- ・安定的なサービス提供の継続を図るため、食材費及び光熱費
（LPガス）の一部を支援
給付件数：669事業所（10月末現在）

■障害福祉サービス事業所等物価高騰対策支援事業

- ・障害福祉サービス事業所等の負担軽減を図るため、食材費及び
光熱費（LPガス）の価格高騰分の一部を支援
給付件数：476件（10月末現在）

■学校給食費支援補助金

- ・保護者の負担軽減を図るため、市立小・中学校等に対し、給食費
相当額の一部を支援
①給食実施校117校に補助（5月）
②アレルギー等児童生徒及び給食未実施校2校の保護者に補助
（8年3月予定）

■保育所等給食費支援事業

- ・保護者や保育所等の負担軽減を図るため、園児に給食を提供して
いる保育所等に対し、必要経費を助成
補助対象：給食実施の保育所等 309園

■愛のふれあい会食事業・心をつなぐ訪問給食事業・ゆうあい訪問給食事業

- ・各事業の配食事業者に対し、利用者のサービス水準の維持を図る
ため、食材調達や配食に係る経費を増額

など、計28事業